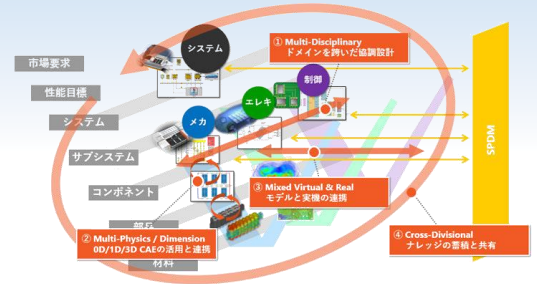


MBDプロセス構築コンサルティング

推進計画の立案から技術構築までお客様のMBD推進を全面的にサポート

モデルベース開発（Model Based Development; MBD）を進める上では複数のシミュレーションツールやそれを活用するための技術の構築が必要となります。しかし、ツールの導入あるいはシミュレーション技術の向上そのものが目的化してしまうと、かえって開発効率を低下させ、シミュレーションが思うように設計で活用されずにMBDの推進が形骸化することにつながりかねません。

IDAJでは、現状の開発フローにおける様々な設計課題を解決し、高いレベルでの協調設計を実現することをMBDの真の目的ととらえ、お客様の環境に合わせたMBDプロセスの構築をサポートします。



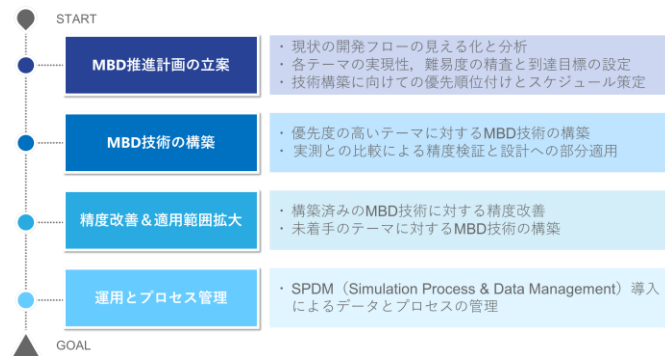
IDAJがご提供するMBDプロセス構築コンサルティングの特徴

企画から製品まで開発フロー全体をカバーしたソリューションをご提供

1次元システムシミュレーションと3次元詳細シミュレーションの技術とを融合してご提供することにより、システム設計から部品設計、実機適合までを一気通貫で連携しながら、より強力にMBDを推進していただくことが可能です。

推進計画の策定からお客様のMBD推進を全面的にサポート

シミュレーション技術の構築やツールのご提供のみならず、MBD推進の前提となる設計課題のヒアリングと分析、それを踏まえたMBD推進計画の立案を実施いたします。

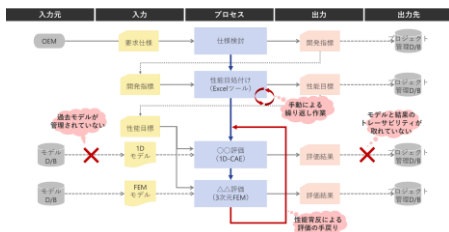


現状課題の分析と推進計画の策定

① As-Is：現状の開発フローの見える化

設計や解析のご担当者様に対するヒアリングを実施することで、企画～製品までの現状の開発フローを分析し、その課題を洗い出します。

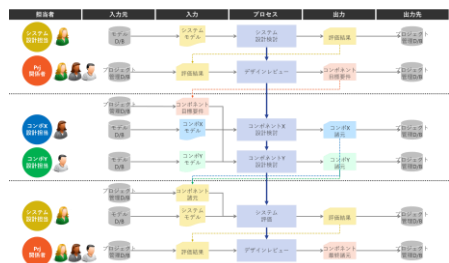
- ・設計の評価項目、評価の順番、開発フローの中での位置付けの確認
- ・評価方法（過去実績、実験、CAE）、評価基準の精査
- ・手戻りの発生箇所とその要因の分析



③ To-Be：目指す製品開発・設計業務プロセスの具体化

下記の観点を踏まえ、開発フローのありたき姿を具体化します。

- ・経験則からの脱却による競争力向上
- ・試作実験の削減およびCAEの精度向上によるボトルネック解消
- ・フローの組み換えによる開発効率化

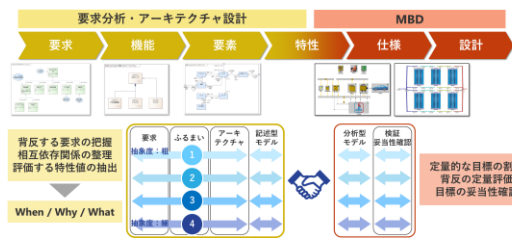


② 要件－機能－要素の構造分析

製品として達成すべき要件と、要件を満たすための機能、および機能を具現化する要素を構造化し整理します。これにより、

- ・現象理解が不十分で要件－機能－要素の関係が曖昧な箇所
- ・背反関係や寄与度が解明できていない箇所

を把握します。



④ 取り組みの優先順位付けと推進計画の立案

具体的な技術構築テーマを抽出し、下記に基づいて優先順位付けとスケジュールの策定を行います。

- ・その設計課題の克服が製品開発に与えるインパクト
- ・解析の難易度と必要精度
- ・他テーマ／他製品への横展開の可能性

